

令和6年度 貞光地区 貞光中学校運営に対する意見等（学校関係者評価結果）

貞光中学校

- ・家庭学習の支援として、地域未来塾を毎週土曜日に開催しているが、今年度の受講者は24名（28％）であった。生徒にとって有意義な事業にしていと考えており、来年度は木曜日（5時間授業・ノ一部活デー）に開講することを検討中である。その場合、急な日程の変更等、不都合があればご教示いただきたい。
- ・人権やいじめに対する意識を教職員の皆様方が強く持っておられるようで、その点が子どもを預かっていただいている立場として、とても安心できると思います。
- ・中学校になると、そろそろ将来像について設計していく段階に入っていく。自分の反省点として何となく、勉強して友達と遊んで部活動をしての日々で、高校選択も自分の意思ではなく、先生の助言によるものだった。大人になったら、どういう社会で、どう生活するのか考えていなかった。例えば、真夏の猛暑日により活動できない時間に、その職種で働く方を招き、仕事の内容や職に就くまでの過程を学ぶ機会を設けてみてもおもしろいと思います。（部活動の時間短縮含め）
- ・「(生徒アンケート) 働くことや職業について興味を持ち、自分の進路や将来について考えることができる」「(保護者アンケート) お子様とお子様の将来や進路について機会をとらえ話をしている」「(教職員アンケート) 地域や各種団体などの教育資源を積極的に活用した体験的学習の活動の充実に努めている」については、地元の産業・経済等について、その部門の担当者の具体的な説明を、生徒さん方が受けられた体験はどうだったのか。
- ・心も身体も大きく変化する年齢で自己肯定感が生徒も保護者も感じていることを素晴らしいと思います。課題にある保護者の「わからない」は、本当に難しいテーマだと思います。お便りや学校HP等で活動等を掲載しても、見ていないから「分からない」のかなと思うので「じゃあ、どうすれば？」ってなります。どのように伝えていけば良いのか・・・「分からない」は本当に難しいです。

その他

- ・一年間CS委員としての活動は十分にできていない。
- ・今の時代、遊びがゲーム中心になっている。園・学校では体を使った体験をもっとさせてほしい。
- ・「教育」という言葉ひとつみても、教職員の設問の多さや多岐にわたる内容で多忙さがうかがえた。事務・研修の効率化、取捨を選択し、できるだけ学ぶことの楽しさや大切さを子どもたちに伝える時間に充てていただけたらいいなと思いました。中学校では大なり小なりのいじめやいじめの種は存在していると思います。いじめた側も将来後悔することになりますが、いじめられた側は、今こそ助けを求めて気づいてほしいと思っています。先生はその存在にあってほしいと願います。
- ・タイムマネジメントの対応、その他教職員のご苦勞が軽減される方法に、ご協力できればと思います。
- ・貞中のアンケート結果、コンパクトで見やすくコストダウンで、良いなと思います。